



簡保契約の勸奨

団体掛金の奨励

平郵局管内に於ける簡保保費の純額は、約九十九万七千七百七十九円に達した。このうち、団体掛金の額は、約二百二十万二千二百五十七円に達した。これは、前年同月比で、約一割増の増加を示している。団体掛金の増加は、平郵局管内の簡保普及の進歩を示している。平郵局は、この増加を奨励し、団体掛金の増加を更に努むる。一方、個人掛金の増加を奨励し、簡保普及の進歩を更に努むる。

縣下唯一の保健所

今日晴れの落成式

厚相その他有士多数の祝辞

本縣下に於て最初の建設である保健所の落成式は、既報の如く、今日二十五日午前十時から新築の廳舎に於て舉行された。式は、型如く神職の祝詞、玉串奉奠を終つて、若島知事(式辭)柳澤警察部長(代理)山本警察部長(工事報告の後、來賓の祝詞に移り、厚生大臣(衛生課長代理)野崎縣長、青沼平市長、篠山第一校長、石城郡町村長支會長、縣醫師會長、縣藥劑師會長、石城郡醫師會長等を何れも同所の使命とする健康國民的資源の開發に就て述べられ、祝電披露青沼所長の挨拶の後、閉式祝詞を讀んで散會した。新築の保健所は、昨年三月起工二百五十日を

Table with 2 columns: 日付 (Date) and 金額 (Amount). It lists various financial transactions or payments.

債券は来る二月六日から二十日まで賣出される

平市の縣費支店を初め各銀行及び郵便局等に對する割當てを合せて一萬五千圓に上るもの、如く平局への割當ては、五圓券四百枚位で二千圓かと見られてゐる。

第八回の事業債

平局の割當五萬圓

廿一日から十五日間の賣出

先約申込み既に一萬圓弱

平局では事業債の賣出に、仙台通信局管下原指の成績を上げてゐるが、第八回の同債券は、来る二月二十一日から三月四日まで賣出される筈であつて、近く豫定額を仙台通信局に報告することになつてゐるが、今回の割當ては、大体五萬圓前後と見られて市内の特志者から

平小鐵道の批判

代議士 星

平小鐵道とは、平縣を起點とし、小名濱に達する平、小名濱間の鐵道を云ふのである。平小鐵道が議會に現れたのは、昭和二年の第五十二議會であつて、其の建設費用は、約七十萬圓であつて、其の線路に對し、左の如く説明してゐる。

ロケットは火薬又は液体燃料を爆發させて多量の瓦斯を發生させ、其の反動で前進する。發射機、自動車、飛行機等に應用するものと同じで、ロケットは、寶石首飾等に入ることがある。

物價指導委員會

平商工會では、来る二十六日午後一時から、平商會館に物價指導委員會を開催し、左の事項を協議する。

勿來國婦會で優

良會員を表彰

石城城勿來町の國婦人會では、此の程、役員改選を行ひ、會長に小林ちよ、副會長に渡邊たま、富塚君子、理事に大平やすさん、其の他幹部を決定した。席上、優良會員二名を表彰され、國婦の勳章は、同町に幾幾を授け、其の功績を表彰した。

青校指導員の危

石城郡勿來町青年學校の指導員川井又三上等兵(四)は、去る大正十五年七月同校の指導員となり、自分の職務を省みず、専ら朝早くとも風雨を冒し、

奇特な消防手

石城郡平野町消防組の第一部長、消防手安田重雄(三)氏は、同町の口夜警の出勤者が少ないため、獲勝十五日から引續いてゐる。

夏井の慰問袋

石城郡平野町では、縣の統戰會から贈られた慰問袋六十個を、同村統戰會の手により募つてゐるが、来る二十五日發送の豫定である。

御感即興の作

平市八幡小路出身、齊藤二郎大尉。南京にて。滿地星光地似眠、南京城外欲明天、忽聞爆雷驚人馬、驚動健兵亦可憐、徐州にて不眠不食月餘連、突破縱橫江蘇、忽見殘兵如散、臥牛一瞥入徐關。

高久村根岸婦人

石城郡高久村の下高久字大和の根岸婦人團では、團員三十餘名の十九夜講で得たる賞銀六圓十二錢を、昨二十四日、血兵獻金万村役場に寄託した。

一、平小鐵道とは、平縣を起點とし、小名濱に達する平、小名濱間の鐵道を云ふのである。二、平小鐵道が議會に現れたのは、昭和二年の第五十二議會であつて、其の建設費用は、約七十萬圓であつて、其の線路に對し、左の如く説明してゐる。第五十二議會、追加線路説

一、本線路は鐵道建設法第三十一條に該當し、延長八哩七分、常磐線平野を起點とし、小名濱に達する平、小名濱間の鐵道を云ふのである。二、本線路の終點小名濱は、常磐線平野の終點と同一の位置に在り、小名濱に達する平、小名濱間の鐵道を云ふのである。三、本線路の建設は、平野の交通を便利し、平野の産業の發展を促進し、平野の繁榮を期すものである。

一、本線路は鐵道建設法第三十一條に該當し、延長八哩七分、常磐線平野を起點とし、小名濱に達する平、小名濱間の鐵道を云ふのである。二、本線路の終點小名濱は、常磐線平野の終點と同一の位置に在り、小名濱に達する平、小名濱間の鐵道を云ふのである。三、本線路の建設は、平野の交通を便利し、平野の産業の發展を促進し、平野の繁榮を期すものである。

一、本線路は鐵道建設法第三十一條に該當し、延長八哩七分、常磐線平野を起點とし、小名濱に達する平、小名濱間の鐵道を云ふのである。二、本線路の終點小名濱は、常磐線平野の終點と同一の位置に在り、小名濱に達する平、小名濱間の鐵道を云ふのである。三、本線路の建設は、平野の交通を便利し、平野の産業の發展を促進し、平野の繁榮を期すものである。

Advertisement for 'ウエル萬年筆' (Well fountain pen) and '魁文堂' (Kaimon-do). It lists various stationery items and provides contact information for the shop.

て毎夜々警に當り、向ほ来る三月末まで、獨りでもやるとの篤行振りに井坂組頭もいたく感激して、近く表彰することになつた。

農業方面

計画生産に 中心を置いて

(1) 農山漁村に總花
の十四年度豫算

十四年度の農林省豫算は一級農山漁村に於てない力の入れ方で非常時であればこそ少くとも平常時程度を確保する必要がありこの意味で十四年度は飽くまで積極的な生産方針に従つたハッキリ豫算でありその總額は一億四千四百九十萬三千圓と云ふ例年以上の数字を示してゐる、ことに新規事業は經濟界の非常時に即應すべく大小四十餘項目にわたつて計算され農山漁村に万遍なく行届いてゐる、その内容は農業生産の計画化に重點を置き輸出の増進、生産力の擴充、馬政計畫の實施、代用品の研究などが光つてゐる、なほ提出法案は種馬統制案、軍馬資源保護法案、森林法中改正法案、林業種苗法案、米穀會社法案などゝなつてゐる、此の新豫算の重點を拾ひ上げれば大体次の如きものである、

▲代用品の施設に關する經費が合計百一十萬圓となつてゐる、其の項目は輸入農薬製劑の代用品製造研究費が三萬一千圓、水産皮革類の増産利用奨励費が十八萬七千圓、水産物化学的加工試驗費九萬六千圓、纖維維の生産利用促進施設に關する經費が四十三萬圓、ガソリン代用木炭の増産施設費二十五萬七千圓となつてゐる、何れも國立の農事、水産、蠶糸林業の各試驗場をはじめ府縣の試驗場に委託し

て行はれるものであるが研究すれば代用品でも食物以上のものが生れる目安のついてゐるものが相當あるのでこれ等に對し研究費を與へ或は補助して自給自足の營をあげやうと云ふ計畫である、

牛も豚も優良品の自慢

平市 田町
肉の御 三三三屋
用命は

◆一級印刷物も
割引受致します
新しいわき新聞社
印刷部

品名	定価	目録	定価
月カツレツ	三	チキン	三
ポーク	三	カツ	三
エビ	三	カツ	三
水	三	カツ	三
木	三	カツ	三
金	三	カツ	三
土	三	カツ	三
日	三	カツ	三

デリーサービス

材料のおまかせを願つて居る為め其の節々のおいしい新鮮な物を御座り出ましますので御座客からいつも御好評を蒙りて居ります

RESTAURANT MARUTOMO
堂食モトルマ

國民精神總動員
日本國民必見の書……
内閣情報部發行
寫眞週報
1部10セン
お取次致して居ります
西村屋藥局

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町一電話二六九番

産科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄
平市新川町九一
入院隨意 木村病院
病室完備

平病院 (平市元共濟病院跡)
院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 院長 鈴木定藏
小兒科 院長 鈴木定藏
皮膚泌尿科 院長 高橋俊幸
外科 院長 鈴木定藏
物理療法科 院長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に從事す(急患は此の限らぬ)

磐城城代 酒銘
美味經濟 味の王
油醬ルマヤ
社會名合崎山
番十話電

便利で 經濟な 日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから
何をお任せしてもご安心です
平市白銀町十番地
日下家政婦會
會長 日下すい子
電話 七二三番

諸毒下りの大妙藥
安流丸
多田井質店
平市大工町 電話五九一

和洋銅鐵、金物問屋
店商屋釜
九九・九電

新時代の要求
御手不足の御家庭
輕い御病人の付添
妊婦産婦の御家庭
平市南町
電三〇七
平看護婦會